

科目名	運動器障害理学療法学演習 I	担当教員	小林巧※ 小林匠※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	----------------	------	----------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	1単位	演習

科目概要	基本的な運動器疾患の理学療法を行うために必要な知識の再構築と評価・治療手技の演習から、各疾患に対する理学療法の考え方を身につけることを目的とする。骨折や靭帯損傷などの外傷、リウマチや関節症などの整形外科疾患に関して、「人体構造機能学I, II」, 「運動学」, 「運動器障害基礎論」, 「理学療法基礎評価学II」, 「運動器障害理学療法学」において学んだ知識を統合し、各疾患に関わる機能解剖, 病態, 評価, 治療・予防の一連の流れを学ぶ。
学習目標	1. 代表的な運動器疾患に対する基本的な理学療法評価・治療の技術を身につける。 2. 代表的な運動器疾患に対する術前・術後のリスク管理に関する技術を身につける。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	肩関節 1	肩関節疾患の理学療法評価	肩関節疾患に対する理学療法評価法を身につける。	小林匠
2	肩関節 2	肩関節疾患の理学療法手技	肩関節疾患に対する基本的な理学療法手技を身につける。	小林匠
3	肘・手関節 1	肘・手関節疾患の理学療法評価	肘・手関節疾患に対する理学療法評価法を身につける。	小林匠
4	肘・手関節 2	肘・手関節疾患の理学療法手技	肘・手関節疾患に対する基本的な理学療法手技を身につける。	小林匠
5	脊柱 1	脊柱疾患の理学療法評価	脊柱疾患に対する理学療法評価法を身につける。	小林巧
6	脊柱 2	脊柱疾患の理学療法手技	脊柱疾患に対する基本的な理学療法手技を身につける。	小林巧
7	股関節 1	股関節疾患の理学療法評価	股関節疾患に対する理学療法評価法を身につける。	小林巧
8	股関節 2	股関節疾患の理学療法手技	股関節疾患に対する基本的な理学療法手技を身につける。	小林巧
9	膝関節 1	膝関節疾患の理学療法評価 (保存)	膝関節疾患に対する理学療法評価法を身につける。	小林巧
10	膝関節 2	膝関節疾患の理学療法評価 (術後)	膝関節疾患に対する術後の理学療法評価法を身につける。	小林巧
11	膝関節 3	膝関節疾患の理学療法手技	膝関節疾患に対する基本的な理学療法手技を身につける。	小林巧
12	足関節 1	足関節疾患の理学療法評価	足関節疾患に対する理学療法評価法を身につける。	小林匠
13	足関節 2	足関節疾患の理学療法手技	足関節疾患に対する基本的な理学療法手技を身につける。	小林匠
14	足部 1	足部疾患の理学療法評価	足部疾患に対する理学療法評価法を身につける。	小林匠
15	足部 2	足部疾患の理学療法手技	足部疾患に対する基本的な理学療法手技を身につける。	小林匠

評価方法	筆記試験(100%)
教科図書	運動器障害理学療法学テキスト 改訂第2版 (南江堂)
参考図書	病気がみえる vol.11 運動器・整形外科 (メディックメディア) 運動機能障害の「なぜ?」がわかる評価戦略 (医学書院) 関節機能解剖学に基づく 整形外科運動療法ナビゲーション (メジカルビュー社) 膝関節理学療法マネジメント (メジカルビュー社) 足部・足関節理学療法マネジメント (メジカルビュー社) 股関節理学療法マネジメント (メジカルビュー社) 運動器障害理学療法学 I・II 15 レクチャーシリーズ 理学療法テキスト (中山書店) クリニカルリーズニングで運動器の理学療法に強くなる! (羊土社)
学習の準備	運動器障害基礎論, 運動器障害理学療法学の内容を復習しておくこと
オフィスアワー	在室時はいつでも可能
担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験	小林巧・小林匠は、民間病院で運動器疾患における理学療法の実務経験を有しており、本講義においてその経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。